



学校だより

深谷

令和6年2月29日

3月号

横浜市立深谷小学校

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fukaya>

心から感謝

校長 石原 加代子

西門の紅梅が真新しい樹木札をまとって喜び、満開になろうとしています。先日はご多用の中授業参観・懇談会にご出席いただきありがとうございます。

6年生は、小学校生活最後の授業参観で何を伝えたいかを自分たちで考え、主体的に取り組みました。担任は子どもたちの思いを大切に、できるだけ子どもたちに任せて見守り、必要なときだけ助言しました。集大成の姿はいかがでしたか。子どもたちの成長を感じていただけでしょうか。

最高学年として、たてわり活動や委員会活動などでは、一人ひとりがリーダーとなり、緊張しながらも頑張ってきました。その積み重ねが、今の6年生の姿です。なんてたくましく凛として行動できるようになったことでしょう。校外学習や日常の学校生活では、子どもたちの周りにはいつも優しさがあふれ、さりげなく友達と助け合う姿、下級生に温かい声をかけている姿が何度も見られました。ある授業では、友達の素敵などところを見つけて「言葉のプレゼント」を伝え合っていました。改めて自分自身や友達のよさに気づき、照れながらもうれしそうでした。一人ひとりのあるがままの個性を受け入れ、自分の思いを素直に伝え合える仲間。教室全体が温かい空気に包まれていました。学校スローガン「感謝のバトンを未来へ～みんなを思いやる深谷っ子～」を友達にも学校全体にも自ら行動で示し、最高学年として深谷小を創ってきたことを頼もしく思っています。

本校では、授業を中心にあらゆる教育活動を通じて、学校教育目標『自ら学び 伝え つながる深谷っ子』の実現を目指してきました。全職員で全校児童の児童理解に努め、どの学年も多くの教員が関わり、「心の安定」を基盤にした「学力向上」を図っています。今年度は残り1か月となりましたが、児童に寄り添い、ほっとする居場所の中で育成したい資質・能力を少しでも多く身に付け、自信と希望をもって中学進学や進級ができるように全力を尽くします。

地域の皆様・保護者の皆様には、学援隊や共育ボランティアネットワークをはじめ、登下校の見守りや様々な教育活動で温かいご支援をいただきました。学援隊会長の小屋様は何人もの方にお声かけし、新たに学援隊を引き受けてくださる方を見つけさせていただきました。PTA 役員の方々を中心に登下校や安全な行事の運営などを支えてくださいました。深谷っ子愛護会の皆様は除草や花を植えるなど環境整備をして、子どもたちの情操教育に貢献してくださいました。季節ごとの花を目にして子どもたちに笑みがこぼれています。この他にも、たくさんの方々に本校の教育活動を支えていただき、安心安全な教育活動を実施することができました。また、地域を巡回して登校指導をしていると、子どもたちが歩きやすいように通学路の草刈りやごみ拾いをしてくださっている方をよく見かけます。子どもたちも教職員も、地域の皆様や保護者の皆様の優しさ、深谷のまちのあふれる愛を幾度となく感じてきました。いつも温かく応援していただき、心より感謝申し上げます。来年度も、変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。